室蘭市病院事業中期経営計画の平成１９年度の進捗状況

近年の医療需要は、医療技術の高度化、高齢化社会の急速な進展による老齢人口の増加により複雑多様化の傾向にあります。一方、病院事業を取り巻く経営環境は、医療保険制度や診療報酬体系の改正などにより大変厳しい状況となっております。このような状況の中、将来にわたり質の高い医療を安心・安定的に提供するため、経営の総点検を行い効率的で計画性・透明性の高い病院経営ができるよう「中期経営計画」（平成 17 年度～21 年度）を策定して経営の改善に取り組んでおります。

以下、平成１９年度における経営状況についてお知らせいたします。

１.収支の状況

市民の医療需要に対応した医療器機器具を更新しました。19 年度は不良債務を約 1 億 9,100 万円解消し、年度末不良債務は計画の約 10 億 6,900 万円に対し約 8 億 8,600 万円となりました。

（単位：千円）

			平成１９年度		差（B−A）
			計画　A	決算　B	
収益的収支	経常収益		9,329,540	9,585,794	256,254
		診療料金	8,492,831	8,629,361	136,530
		他会計補助金等	836,709	956,433	119,724
	経常費用		9,654,935	9,900,293	245,358
		人件費	4,422,684	4,606,633	183,949
		物件費等	5,232,251	5,293,660	61,409
	経常損失		325,395	314,499	△10,896
	特別利益		500	52,359	51,859
	特別損失		22,000	14,128	△7,872
	純損失		346,895	276,268	△70,627
資本的収支	収入計		465,421	448,962	△16,459
		企業債			
		他会計補助金等	465,421	448,962	△16,459
	支出計		756,492	723,574	△32,918
		建設改良費	78,576	45,658	△32,918
		企業債償還金	677,916	677,916	
不　良　債　務			1,068,976	886,111	△182,865

2.財務分析指標

診療料金収入が計画に届かなかったため、各種比率は不良債務比率を除き計画を下回る数値となりました。

項　　目	平成19年度		差(B-A)
	計画(A)	決算(B)	
経常収支比率	96.6%	96.8%	0.2%
不良債務比率	12.3%	10.0%	△ 2.3%
累積欠損金比率	122.1%	117.5%	△ 4.6%
人件費比率	50.7%	51.8%	1.1%
同(退職給与金を除く)	49.1%	48.9%	△ 0.2%
繰入金比率	10.6%	10.9%	0.3%
職員一人当たり医業収益	17,788 千円	18,672 千円	△ 884 千円

☆経常収支比率　経常費用に対する経常収益の割合を示し、100%以上が健全な経営といえます。

☆不良債務比率　医業収益に対する不良債務の割合を示します。

☆累積欠損金比率　医業収益に対する累積欠損金の割合を示します。

☆人件費比率　医業収益に対する人件費の割合を示します。

☆繰入金比率　総収益(収益的収入＋資本的収入)のうち繰入金が占める割合を示します。

3.職員数の状況

医師や看護師など当院の正職員数は表のとおりとなっております。

(単位:人)

区　分	H19.4.1 (A)	H20.4.1 (B)	差 (B-A)
医局	118	113	△ 5
看護局	327	338	11
薬局	12	12	
事務局	34	32	△ 2
合計	491	495	4

4.患者数の状況

平成 19 年度の入院、外来別の延患者数は表のとおりとなっております。

（単位：人）

項　目		平成 19年度		差（B−A）
		計画（A）	決算（B）	
入院	延患者数	203,130	198,545	△4,585
	一日平均	555	542	△13
外来	延患者数	305,853	282,504	△23,349
	一日平均	1,137	1,117	△20

5.設備投資の状況

平成19年度は、デジタルガンマカメラや網膜観察装置など 29 件の医療機器の更新や整備を行いました。

（単位：千円）

内　容	平成19年度		差（B−A）
	計画（A）	決算（B）	
医 療 機 器	155,000	148,646	△6,354

6.経費削減等の財政効果

平成 19 年度の経費削減等の取組みによる効果額は、収入、支出を合わせて約 4 億円で計画より約 1 億 7,000 万円上回りました。

（単位：千円）

項　目		平成 19 年度		差（B−A）
		計画（A）	決算（B）	
収入	看護職員配置の見直し	59,500	184,647	125,147
	服薬指導の強化	3,150	6,711	3,561
	集中治療室管理料	78,000	89,408	11,408
支出	人件費削減	233,480	237,167	3,687
	材料費削減	12,000	29,575	17,575
	給食委託による経費削減	5,800	6,382	582
	給食・SPD委託料	△161,620	△154,020	7,600
合計		230,310	399,870	169,560